

「魅力ある大学にするための方策」に関する主な意見**1 地域により密着した大学****○地域から学ぶ特色ある教育・研究（地域・企業 ⇒ 大学）**

- ・地域から学び、地域が好きになる教育を充実させ、諏訪圏域外からも志願者を集められる魅力を備えるよう、大学の変革が必要。（カリキュラムや課外活動での高原・自然の利用）
- ・地元企業と連携したインターンシップを行うことにより、実践的な教育を目指す。
- ・企業から課題を得るPBL教育とインターンシップを組み合わせ、実践的な教育にする。
- ・地域企業に研究者や学生が積極的に入り込み、企業における課題の抽出を行い、解決方策を共同研究することで、学生にとっても、プロジェクト学習の良い機会になる。
- ・公立大学に移行するからには、諏訪地区の立地を生かして、徹底した産学連携によるユニークな教育を目指すことが必要。
- ・知識中心の学習ではなく、徹底した現場主義の教育に転換すべき。
- ・地元企業の経営者の特別講義を増やし、卒業単位に組み込む。

○地域企業への貢献（大学 ⇒ 企業）

- ・社会人大学院生（修士・博士課程）の受け入れを行い、企業の課題解決手段として活用。
- ・大学において、地域の中小企業の社員研修を業種別や産業別に行うなど、諏訪圏ものづくり推進機構の人材育成事業とも一体的に実施してはどうか。
- ・技能検定取得に向け、加工技術の習得と座学講習の場として、大学を活用する。
- ・諏訪地域のものづくり産業を牽引するような研究を推進し、積極的に発信する。
- ・公立化にあたり、諏訪地域にある技術と技能を地域に残すための取り組みを大学が行う。
- ・大学のキャンパスをサテライト化して諏訪圏域一円に設置し、地域の課題に答える。
- ・大学院や市民への教育、産学連携の活動拠点を中心市街地に移すことが必要。

○地域の教育への貢献（大学 ⇒ 地域）

- ・大学と高等学校の連携を積極的に推進し、有能な人材の確保と志願者の増加を図る。
- ・県内工業高校やスーパーサイエンスハイスクール（SSH）との連携を進める。
- ・地域住民に対する大学の公開講座を積極的に開講し、市民への情報発信が必要。

2 大学の教育研究を充実させる**○幅広い実力をつけさせる教育**

- ・資格取得に積極的な大学を前面に打ち出し、特色を持たせる。資格取得は就職にも有利。
- ・志願者増や偏差値アップには、特色ある授業の実施や、魅力ある教員の確保が必要。
- ・エンジニアリング（工学）とマネジメント（経営学）の融合教育を継続することが必要。

○地域の特色を考慮した研究分野への拡大

- ・東京理科大学農業工学研究所（仮称）の構想のとおり、農業理工学分野、農業のIT化に関する取り組みを推進することで、特色ある大学が打ち出せる。

○グローバル化、グローバル化の推進

- ・国際化への対応が大事。英語による授業を取り入れる。学生のディベート力を育成する。
- ・技術英語での専門性を向上し、海外を視野に高度で実践的な人材を輩出することが必要。
- ・海外の大学と姉妹校協定を締結し、相互交流・単位認定・留学派遣を行う。
- ・語学力強化のため、英語による授業や、一定期間の海外留学を義務化する。

○東京理科大学等との連携強化

- ・東京理科大学とは、今後も教育や研究の面での強力な連携を担保してほしい。
- ・東京理科大学、信州大学、新県立大学との活発な相互交流や単位互換認定を行う。
- ・ブランド力のある東京理科大学との活発な相互交流、特別編入学制度を継続する。

3 魅力ある学生生活を提供する

○若者に魅力ある街づくり

- ・理科大周辺を学生にとって魅力ある環境に整備し、住民参加の交流の場をつくる。
- ・学生に諏訪地域の素晴らしさを知ってもらう企画を行い、地域を好きになってもらう。

○交通アクセスの向上

- ・諏訪地域の魅力を一層向上させるためにも、交通アクセスの向上も重要な要素である。

○学生寮・学食の充実

- ・学生の生活費負担軽減と志願者増のため、学生寮の設置を検討することが必要。学生寮があれば、学生支援に手厚い大学としてPRでき、志願者の増加に繋がる。
- ・学食の栄養バランスや価格設定等を充実させることで、他大学と差別化を図る。

○学生の募集、留学生の受け入れ促進

- ・大学のスポーツ活動やサークル活動を充実させ、学生募集に活用する。
- ・海外の提携校を増やして外国人留学生を幅広く受け入れ、学生の確保に繋げる。

4 その他

○関連団体の支援・協力

- ・公立大学は地域の担い手を育成する役割を持っているので、長野県を挙げて学生を育てるという意気込みと体制作りを進めるべき。
- ・諏訪地域にとって必要不可欠な大学であることを共通認識とし、地元自治体の財政的支援や人的支援など、大学の存続に向けて何ができるか積極的に検討することが必要。

○大学経営の改革、大学のブランド力構築

- ・大学の経営トップに民間人を数名入れて、民間的な発想で大学経営をすることが大事。
- ・新たな大学として、諏訪地域に合った新たなブランド力を築いていくことが大切。